



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 18

令和5年12月5日

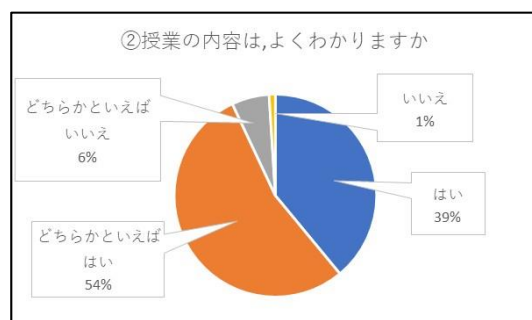
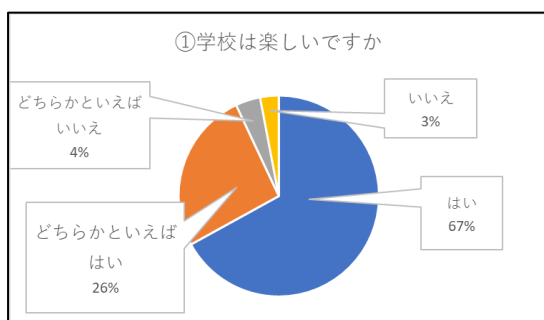
児童アンケートの結果について

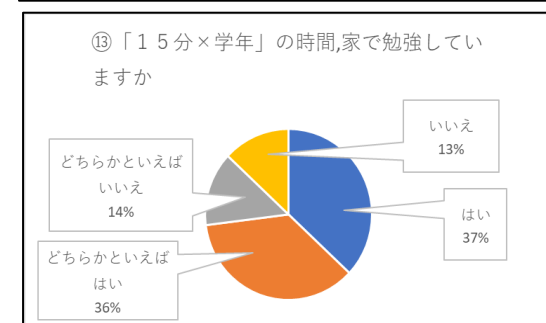
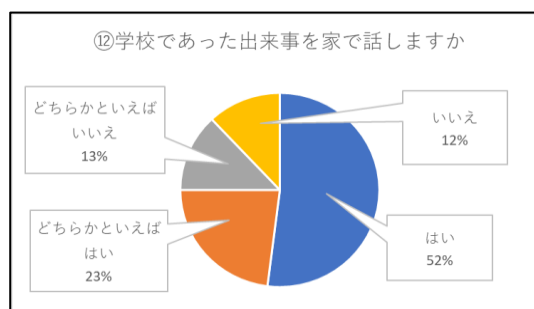
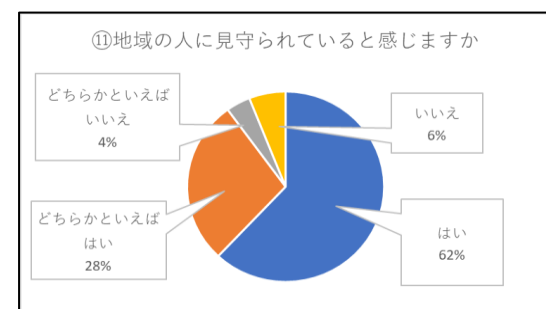
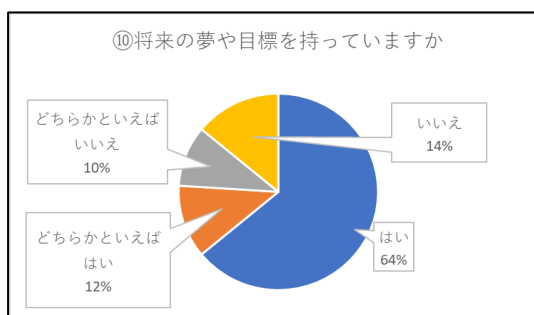
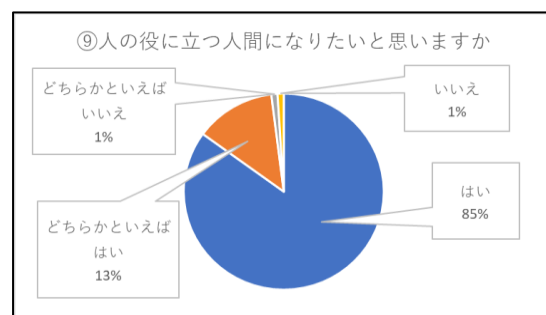
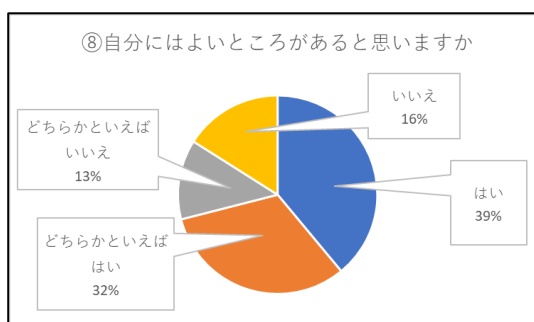
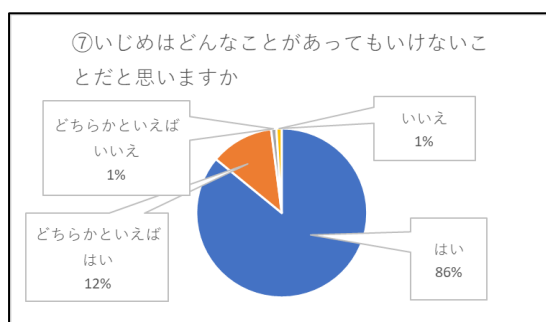
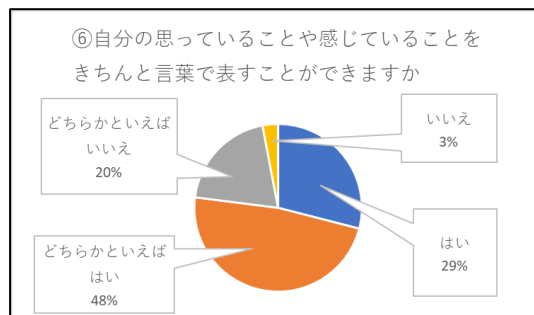
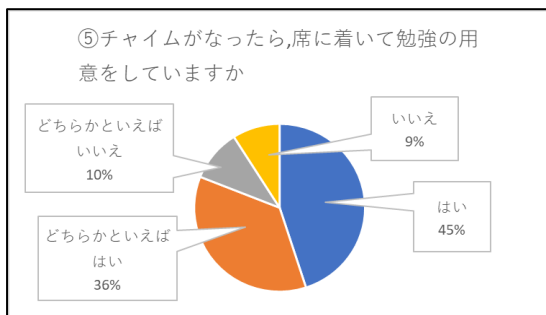
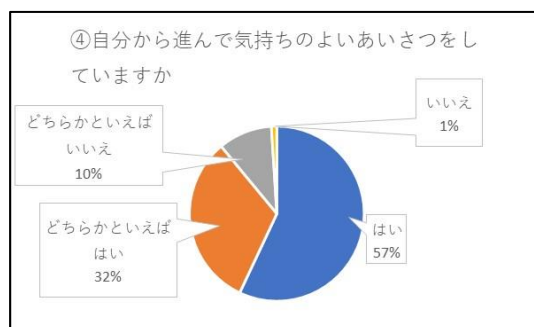
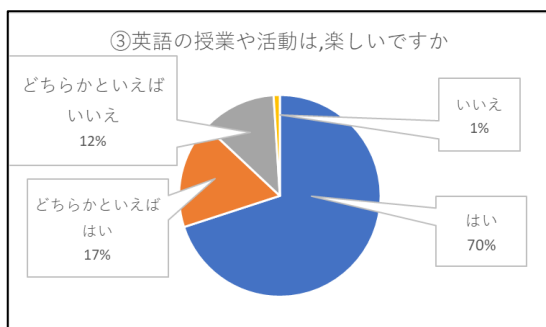
保護者の皆様には、学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。
学校でも児童にアンケートを行いましたので、その集計結果をお知らせします。

質問項目は13項目ありましたが、その中で、「①学校が楽しいですか」、「②授業の内容はよくわかりますか」、「⑦いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」、「⑨人の役に立つ人間になりたいと思いますか」、「⑪地域の人に見守られていると感じますか」の5項目は肯定的な回答が90%以上の良い結果が出ました。「④自分から進んで気持ちの良いあいさつをしていますか」については89%で、ほとんどの児童ができていましたが、100%の児童ができるようになってほしいと思います。

反面、課題のある結果としましては、自己肯定感の低さが見られました。「⑧自分にはよいところがあると思いますか」については、肯定的な回答が71%であり、それに付随する「⑩将来の夢や目標をもっていますか」の項目も76%と低い数値でした。⑨の項目については高い結果になっていますので、合川小学校の児童の特徴として、自己肯定感は低いですが、自己有用感が高いといった傾向が見られます。自己肯定感、コロナ禍になった令和2年度から下がり続けていますので、学校としましては大きな課題として捉えています。授業や行事等を通して、児童に自信と達成感を感じさせることができる取組を進めていきたいと思っています。また、自己肯定感につきましては、学校と家庭が連携して改善していく必要があると感じます。日頃からお子様の良いところを褒め、認めてあげるような声掛け等をお願いいたします。

家庭学習においても「[15分×学年]の時間、家で勉強している」と答えた児童は72%であり、低い結果となっております。児童の学力を高めるためには、学校での学習と家庭学習が共に充実することが不可欠です。学校では、家庭学習の出し方について再度検討し、対策を考えていきたいと思っています。ご家庭でも、お子様の学習時間についてお話をさせていただきますようお願いいたします。その他、個々の回答状況におきましても、教職員で結果を共有し、今後の指導に生かしていきます。





「⑫学校であった出来事を家で話しますか」の項目については、肯定的回答が75%でした。全く話さないといった児童は12%いました。学校でのお子さんの様子を知っていただくためにも、毎日、少しでもお子さんとその日の出来事について話す時間をとっていただけたらと思います。